

第3回川口駅周辺まちづくりビジョン策定検討会 会議録

日時	令和4年3月23日（水）14時00分から15時30分まで
場所	川口市役所第一本庁舎 6階 601大会議室
出席	<p>(委員)</p> <p>■ 中村座長 ■ 児玉副座長</p> <p>■ 樋野委員 ■ 山崎委員 ■ 伊藤委員 ■ 町田委員 □ 高橋委員</p> <p>■ 石川委員 ■ 田中委員 □ 熊井委員 ■ 齊藤委員 ■ 伊藤委員</p> <p>■ 小平委員 ■ 深津委員 ■ 清水委員 □ 栗原委員 ■ 根岸委員</p> <p>■ 小西委員 ■ 野崎委員 ■ 早川委員 ■ 川田委員 ■ 大河原委員</p> <p>(オブザーバー)</p> <p>■ 川野政策審議員</p> <p style="text-align: right;">出席者：■ 欠席者：□</p>
事務局	<p>都市交通対策室 佐々木室長、西村室長補佐、島川主査、田島主事</p> <p>計画管理課 加藤課長</p> <p>都市計画課 高橋課長、小泉課長補佐、神戸課長補佐、小館主任、関根技師</p> <p>再開発課 新井課長、三尾課長補佐、登玉主任</p> <p>株式会社日本設計 田中氏、西村氏、長谷川氏、羽柴氏</p>
議事内容	
1 開会	<ul style="list-style-type: none"> 開会の宣言がなされた。
2 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 中村座長より挨拶がなされた。
3 議題	<p>(1) パブリックコメント等における意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市交通対策室西村室長補佐より、パブリックコメントの実施方法、いただいたご意見について、説明がなされた。 パブリックコメントのご意見と、市議会議員と検討会委員からのご意見を踏まえ、川口駅周辺まちづくりビジョン（案）（以下、「ビジョン（案）」という。）について、9つの修正を行ったことの説明がなされた。 <p>(2) 川口駅周辺まちづくりビジョン（案）の修正内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画課小泉課長補佐より、ビジョン（案）の修正内容について、説明がなされた。
4 意見交換	<p>(1) ビジョンの修正に係るご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見なしのため、本日本配布した川口駅周辺まちづくりビジョン（案）をもって、最終的な取りまとめとすることを確認した。 <p>(2) 感想や今後への期待等に係るご意見</p> <p>【学識委員】 ビジョン（案）の実現に向けた方策として、「社会実験等の試験的取り組みの導入」（P16）とあるが、具体的にどのような取り組みを想定しているか。</p>

【市 委 員】 市民に見える形で取り組むことが重要と考えている。例えば、川口西公園において、キッチンカー設置等の試験的な取り組みを実施し、市民のニーズを把握したうえで、最終的にはPark-PFIの活用を検討したい。

【学識委員】 パブリックコメントの意見を見ると、住民参加に関する意見が多い。
5つの優先的に取り組むプロジェクトについては、出来るだけ初期から住民参加で進めていけると良い。

住民参加により、参加者がまちについて学び、まちに対して愛着を持つようになる、主体的になるといった成長の過程が重要である。

ハードの整備は時間を要し、変化を示しにくい分、こうした住民の内面の変化をニュースレターや SNS 等、何らかの方法で積極的に可視化することが重要であると考えている。

【商工委員】 川口駅周辺は、犬を散歩させている人が多いが、その時に少し休んでお茶ができるような場所があると良い。

そごうが閉店したことで、駅前におしゃれなトイレが不足している。

起業する女性も増えてきているので、シェアオフィス等の整備を進めてもらえると良い。

【商工委員】 ビジョン（案）は、よく整理されている。

住民参加に向け、今後どのように周知し、参加者を募る想定か。誰が中心となって進めるのか。長期的な進め方について確認したい。

【市 委 員】 まずは、ワーキンググループ等、取り組み体制について議論する場を構築する。委員各位には、引き続きご指導、ご協力を願いたい。

【商工委員】 川口西公園には彫刻がいくつも設置されており、その選定に携わった経験がある。しかし、文化・芸術に親しめる公園とはなっておらず、特に公園南側は、訪れる人が少ない。文化・芸術に親しめるまちづくりを進める中では、こうした既存の資源を活かしたい。

今後、川口駅周辺のまちづくりを考えるうえで、川口駅がどう変わっていくかが重要である。そのため、駅周辺だけ先行して進めるのではなく、鉄道事業者の意見を踏まえ、それを周辺のまちづくりに取り入れるべきと考える。

【交通委員】 駅の改良を考えるうえでは、駅周辺のまちの変化を踏まえる必要があると考えており、市や関係者の皆様と一緒に検討を進めていきたい。具体的な機能やイベントの協力等については、これから考えていきたい。

【商工委員】 リリアの西側に新たな美術館を建設し、リリアと連携を図っていくとの新聞記事が掲載されていた。パブリックコメント等の意見を受けて、ビジョン（案）に文化・芸術の観点を取り入れたのは、この計画を念頭に置いたものと思われる。

旧そごう建物の動向、特に商業施設が入るかどうかは、川口駅周辺のまちづくりに大きく影響すると考える。

川口駅の改良については、中距離電車停車のためのホーム増設検討に合わせ

て深度化していけると良い。ホーム増設は、5～10年スパンの話だと思われるため、ビジョン（案）での記載は、この程度で良いかと思う。

【商工委員】 川口は近年住みやすく変わってきているが、新しい住民は今の状態が当たり前であるため、新旧住民では、今後のまちづくりに対する意見が異なる。また、先日の市長選の投票率が低かったことから、そもそも住民の関心が低いことが懸念される。より住みやすいまちの実現に向けて、地元組織等に呼びかけ、意見を聞くことが重要と考える。

【交通委員】 バス交通に対する市民の要望を受け止めた。ハードの整備は時間を要するが、駅周辺のまちづくりが進む中で共に取り組んでいきたい。
一方で、バス乗り場へのわかりやすいサイン計画等は、短期的に取り組んでいきたい。

【交通委員】 バス乗り場へのわかりやすさやバリアフリー化に向けた段差解消等は、短期的に取り組んでいきたい。

【学識委員】 検討会としてはゴールであるが、ここからがまちづくりのスタートであるので、引き続き、委員各位の協力を願う。
ビジョンで示されたまちづくりの方向性を指針として、各取り組みを進め、さらに市民が参画することで、ビジョンの実現につながることを期待する。
市のリーダーシップにも期待している。

5 事務局からの連絡事項

- ・ 今後の進め方について、まずは、令和4年度から市民の移動特性の把握に向けた取り組みを実施する。また、関係主体のワーキングを設置し、官民連携による検討体制の構築を図る。委員各位には適宜報告を行うとともに、引き続きの協力を願う。
- ・ パブリックコメントの公表は、4月中に市のウェブサイト、市政情報コーナー、都市交通対策室窓口にて公表する予定である。
- ・ 本ビジョンは、完成後、各委員あてに配布するとともに、市のウェブサイト、市政情報コーナー、都市交通対策室窓口にて公表する予定である。

6 あいさつ

- ・ 清水副市長より閉会の挨拶がなされた。

以上